

平成17年度病害虫発生予察 予報第9号

長崎県病害虫防除所長

【気象（平成17年12月9日発表 1か月予報 福岡管区气象台）】

<特に注意を要する事項>

予報期間を通じて気温の低い日が多く、特に予報期間の前半は強い寒気の影響を受ける見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

九州北部地方では、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。

向こう1か月の気温は低く、降水量は平年並か多く、日照時間は少ないでしょう。

週別の気温は、1週目、2週目は低く、3～4週目は平年並か低いでしょう。

要素別確率 単位（％）

要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
気温	60	30	10
降水量	20	40	40
日照時間	50	40	10

\* 予報対象地域：九州北部地域

【予報の概要】

向こう1か月間における主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

農作物名	病害虫名	発生程度	
		現況	予想
トマト	黄化葉巻病 灰色かび病 コナジラミ類	並（前年比） やや少 並	並（前年比） やや少 並
きゅうり	べと病 うどんこ病 褐斑病 灰色かび病 ミナミキイロアザミウマ コナジラミ類	やや少 並 やや多 並 やや少 多	やや少 並 やや多 並 やや少 多
レタス	斑点細菌病 灰色かび病 菌核病	多 並 やや少	多 並 やや少
たまねぎ	白色疫病 ネギアザミウマ	並 並	並 並
いちご	炭疽病 うどんこ病 萎黄病 灰色かび病 アブラムシ類 ハダニ類 ハスモンヨトウ	やや多 やや少 やや多 やや少 並 やや少 並	やや多 やや少 やや多 やや少 並 やや少 並
かんきつ	ミカンハダニ  アカマルカイガラムシ (防除情報第16号)	並  やや多	並 (越冬量) やや多 (越冬量)

【トマト】 ( )内は平年値 [以下同じ]

1. 黄化葉巻病

(1) 予報内容

発生程度 並 (前年比)

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病株率は0.0%(前年0.0%)、発生圃場率は8.3%(前年16.7%)であった。

2. 灰色かび病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病は認められなかった(発病株率0.0%、発生圃場率3.3%)。

3. コナジラミ類(シハ<sup>o</sup>-リ<sup>o</sup>-コナジ<sup>o</sup>ラミ、外<sup>o</sup>-コナジ<sup>o</sup>ラミ、オシツコナジ<sup>o</sup>ラミ)

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生株率は0.3%(0.8%)、発生圃場率は16.7%(11.9%)であった。

【きゅうり】

1. ペト病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病葉率は0.8%(3.1%)、発生圃場率25.0%(35.8%)であった。

2. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病葉率は2.2%(2.2%)、発生圃場率は50.0%(34.8%)であった。

3. 褐斑病

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病葉率は0.6%(0.6%)、発生圃場率は33.3%(10.1%)であった。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 発生が多くなってからの防除は困難なので、早期防除に努める。

イ 薬剤は葉裏までかかるように十分散布する。

ウ 薬剤防除の際は系統の異なる薬剤を輪番施用する。

4. 灰色かび病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病は認められなかった(発病果率0.0%、発生圃場率2.6%)。

5. ミナミキイロアザミウマ

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生葉率0.2%(1.0%)、発生圃場率8.3%(13.1%)であった。

6. コナジラミ類(シバ-リ-コナジラミ、オシッコナジラミ)

(1) 予報内容

発生程度 多

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生葉率は2.3%(0.7%)、発生圃場率は58.3%(14.6%)であった。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 発生が多くなるとすす病の原因となるので、発生初期に防除する。

イ 薬剤抵抗性対策のため、同一系統の薬剤は連用しない。

【レタス】

1. 斑点細菌病

(1) 予報内容

発生程度 多

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(15筆)の結果、発病株率は6.3%(0.1%)、発生圃場率は20.0%(6.7%)、一部地域で多発生であった。

(3) 防除上注意すべき事項

被害葉を残すと菌密度が高まるため、圃場外に持ち出す。

2. 灰色かび病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(15筆)の結果、発病は認められなかった(発病株率0.0%、発生圃場率3.4%)。

3. 菌核病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(15筆)の結果、発病株率は0.0%(0.2%)、発生圃場率6.7%(23.4%)であった。

【たまねぎ】

1. 白色疫病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(15筆)の結果、発病は認められなかった(発病なし)。

2. ネギアザミウマ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(15筆)の結果、寄生株率は7.1%(7.4%)、

発生圃場率は46.7% (32.7%)であった。

## 【いちご】

### 1. 炭疽病

#### (1) 予報内容

発生程度 やや多

#### (2) 予報の根拠

ア 12月上旬の巡回調査(27筆)の結果、発病株率は0.0%(0.0%)、発生圃場率は7.4%(0.8%)であった。

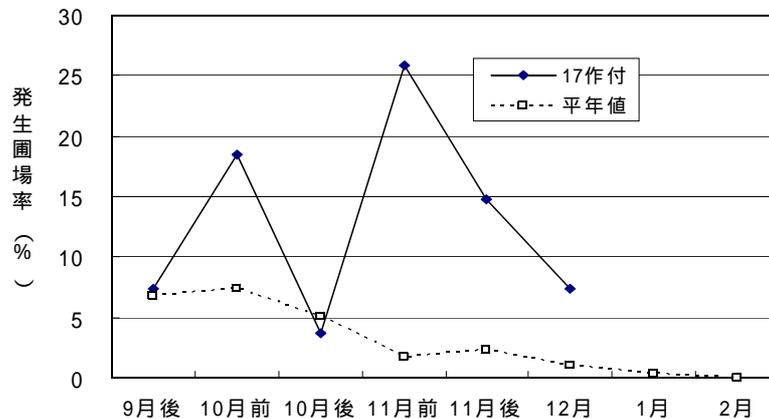
イ 病害虫防除員の調査結果では、本圃定植直後から発生が続いており、気温が低下した現在でも、着果負担等のため、一部で枯死株が発生している。

#### (3) 防除上注意すべき事項

ア 発病および枯死した株は感染源となるので速やかに圃場外に持ち出し、圃場周辺に放置しない。

イ 本圃で使用できる薬剤は少ない。防除の際は使用基準を遵守する。

ウ 多発圃場では、次年度の定植前に土壌消毒を必ず行う。その際は、植物体残さ(特に葉柄、クラウン等)中で炭疽病菌が長期間残存するので、これらを除去する。



炭そ病発生圃場率の推移(巡回調査)

### 2. うどんこ病

#### (1) 予報内容

発生程度 やや少

#### (2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(27筆)の結果、発病株率は0.3%(1.0%)、発生圃場率は7.4%(12.0%)であった。

### 3. 萎黄病

#### (1) 予報内容

発生程度 やや多

#### (2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(27筆)の結果、発病株率は0.1%(0.0%)、発生圃場率7.4%(0.0%)であった。

#### (3) 防除上注意すべき事項

ア 発病および枯死した株は感染源となるので速やかに圃場外に持ち出し、圃場周辺に放置しない。

イ 多発圃場では、次年度の定植前に土壌消毒を行う。

#### 4. 灰色かび病

##### (1) 予報内容

発生程度 やや少

##### (2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(27筆)の結果、発病は認められなかった(発病果率0.1%、発生圃場率5.1%)。

#### 5. アブラムシ類

##### (1) 予報内容

発生程度 並

##### (2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は2.5%(2.7%)、発生圃場率は11.1%(20.5%)であった。

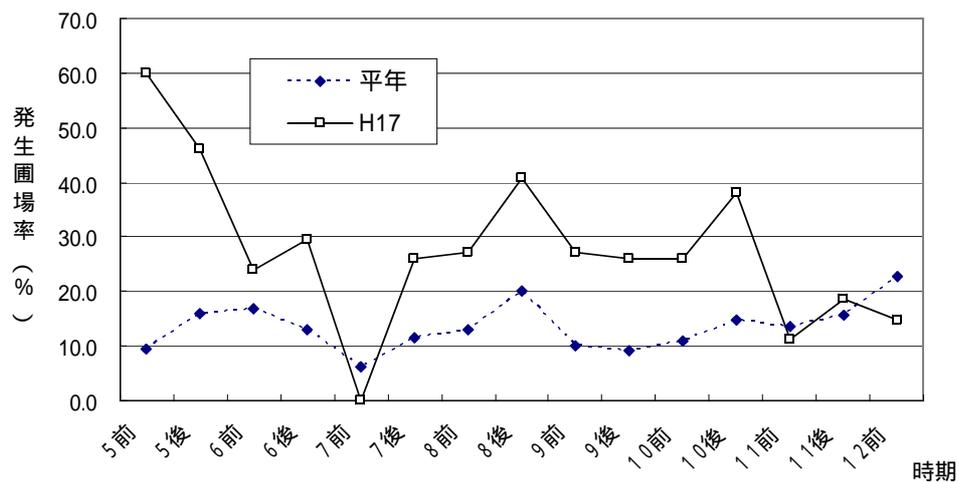
#### 6. ハダニ類

##### (1) 予報内容

発生程度 やや少

##### (2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は1.9%(4.3%)、発生圃場率は14.8%(22.9%)であった。



ハダニ類の発生圃場率の推移(巡回調査)

#### 7. ハスモンヨトウ

##### (1) 予報内容

発生程度 並

##### (2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(27筆)の結果、被害株率は3.2%(2.1%)、発生圃場率は51.9%(25.5%)であった。

### 【かんきつ】

#### 1. ミカンハダニ

##### (1) 予報内容

発生程度 並

##### (2) 予報の根拠

11月下旬の巡回調査(39筆)の結果、寄生葉率は7.4%(11.0%)、発生圃場率は56.4%(55.2%)であった(図)。

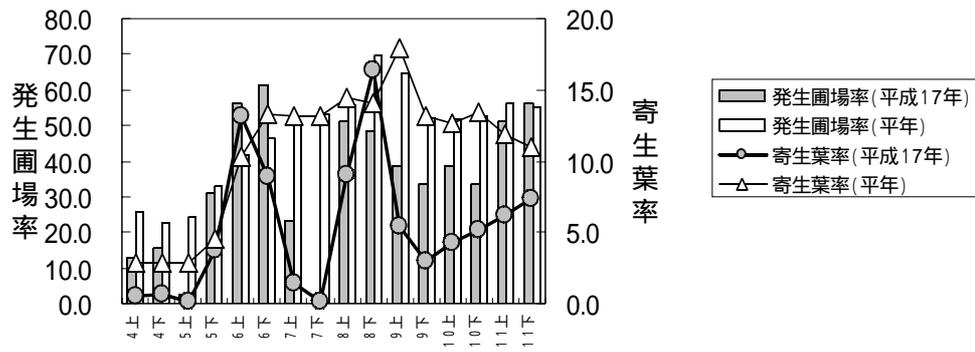


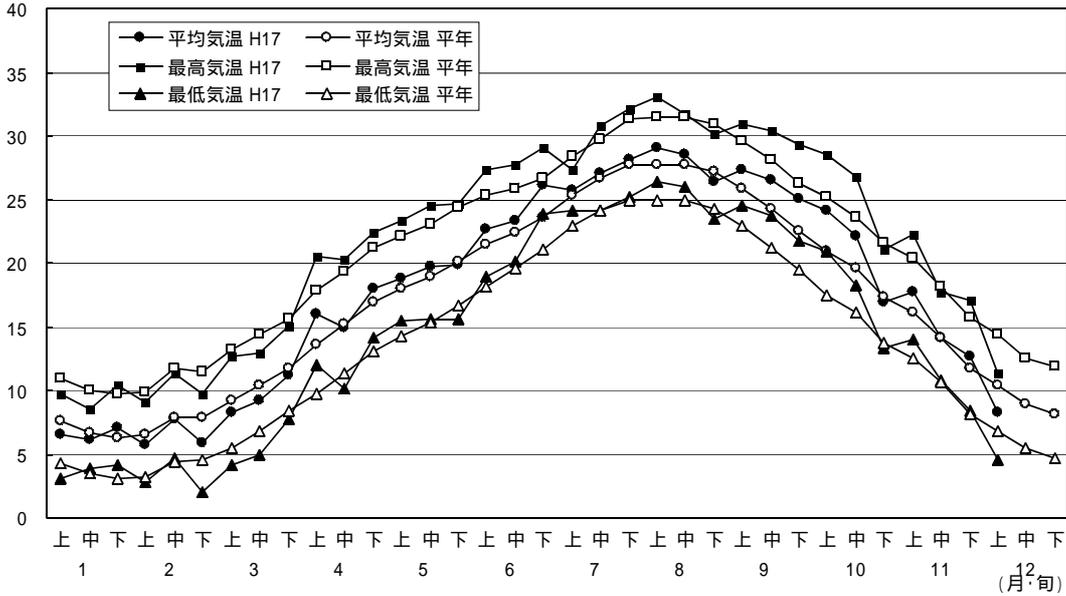
図 巡回調査におけるミカンハダニの発生状況

2 アカマルカイガラムシ

平成17年12月14日付け、**病害虫発生予察 防除情報第16号**による。

( )

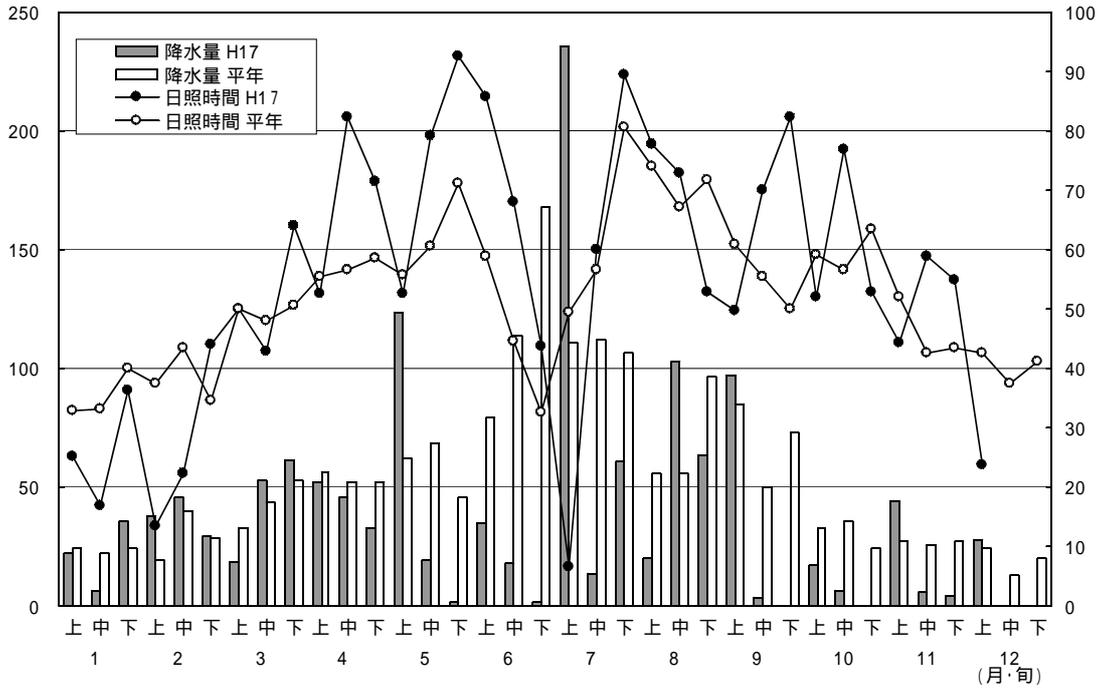
長崎市 気温



(mm)

長崎市 降水量と日照時間

(hr)



「農薬使用基準の遵守について」

農薬を使用する際には、必ず農薬のラベルをよく読み、使用基準（適用作物、適用病害虫、使用濃度、使用量、使用時期、総使用回数）及び使用上の注意事項を守って、適正に使いましょう。

病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

「防除所ホームページ」を利用して、ながさき農林業総合情報システム（一部会員制アドレス：<http://www.n-nourin.jp/>）やその他の情報を閲覧することができます。

この情報に関するお問い合わせは、電話またはEメールでお願いします。

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027， Eメール：kngs0301@sp.jppn.ne.jp